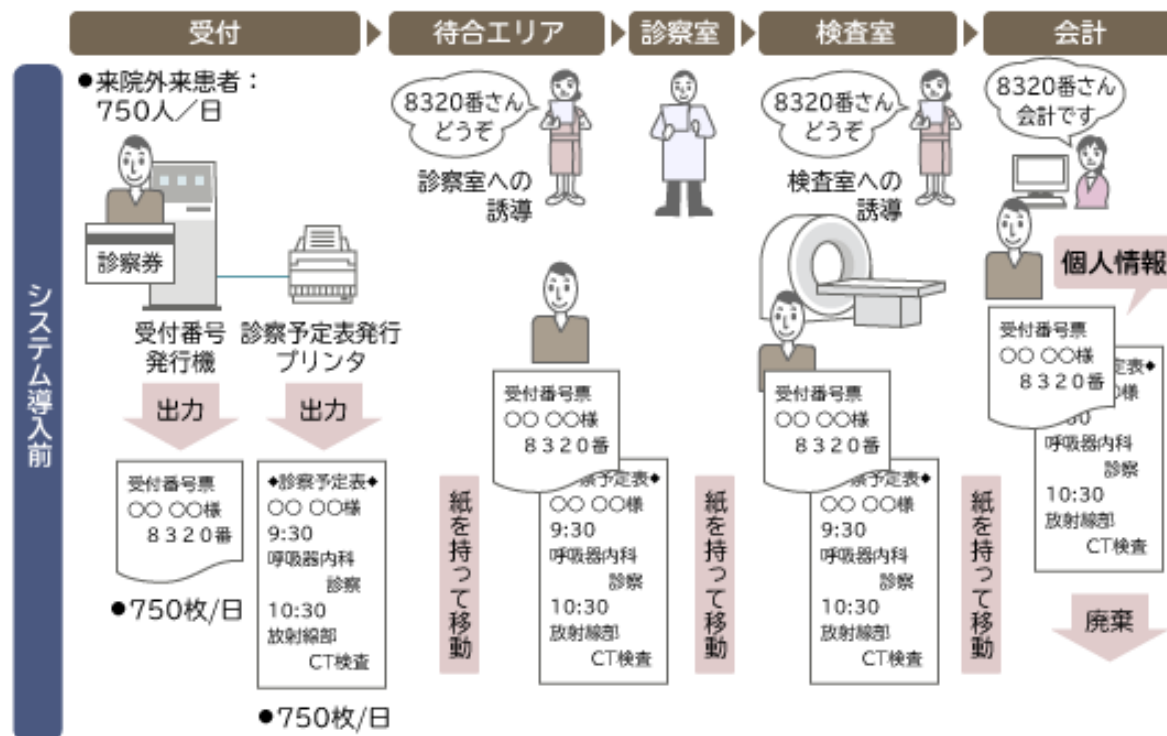


患者呼出システム：1. Before

一般的な大規模な総合病院で従来行われている紙ベースによる運用を想定

従来システムでの想定条件

1. 受付番号発行機で受付番号票と診察予定表を発行。（紙出力2枚）
2. 外来患者様 1日およそ750人が来院。年間運用日240日を想定。
3. 会計時に個人情報を書き込まれた受付番号票と診察予定表をシュレッダ廃棄。

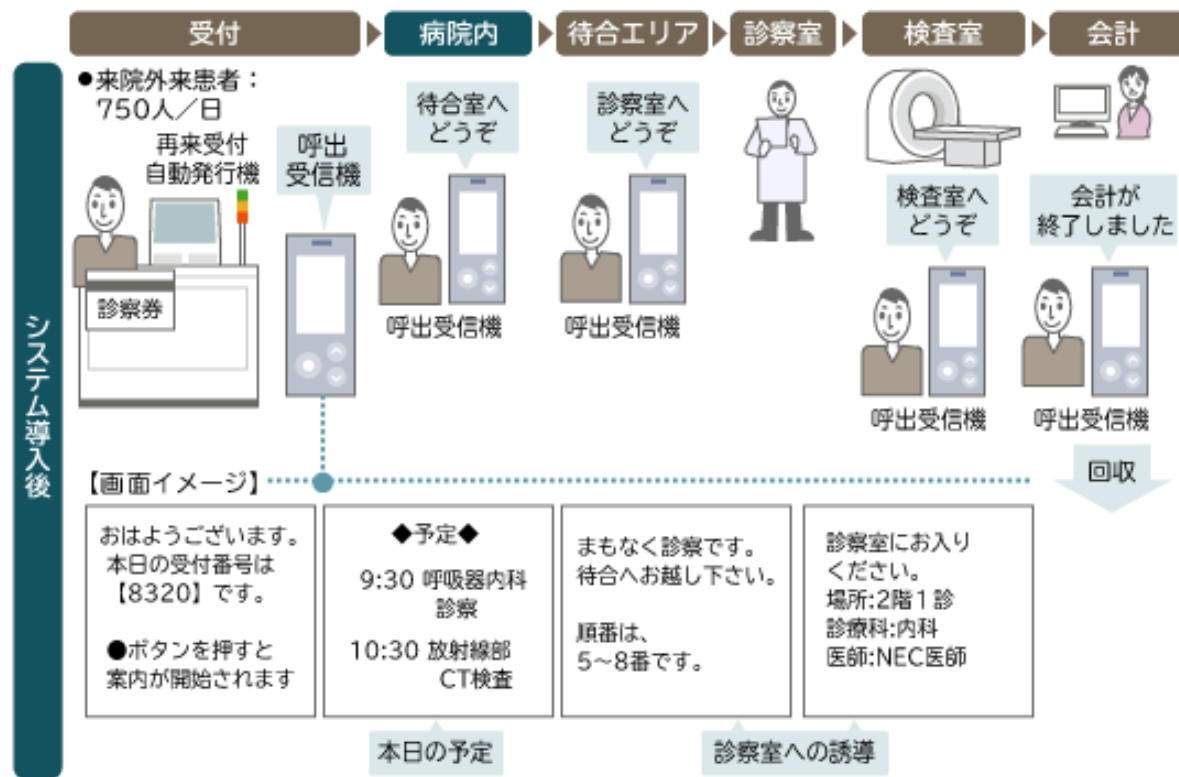


患者呼出システム： 2. After

外来患者様に呼出受信機を携帯していただき、受付から診察・会計までを円滑にご案内するシステムです。

導入後システムでの想定条件

1. 紙ベースによる運用をほぼ0枚にすることを前提（750名来院・240日/年稼働）
2. 診察や検査での適切なタイミングで外来患者様に案内メッセージを通知

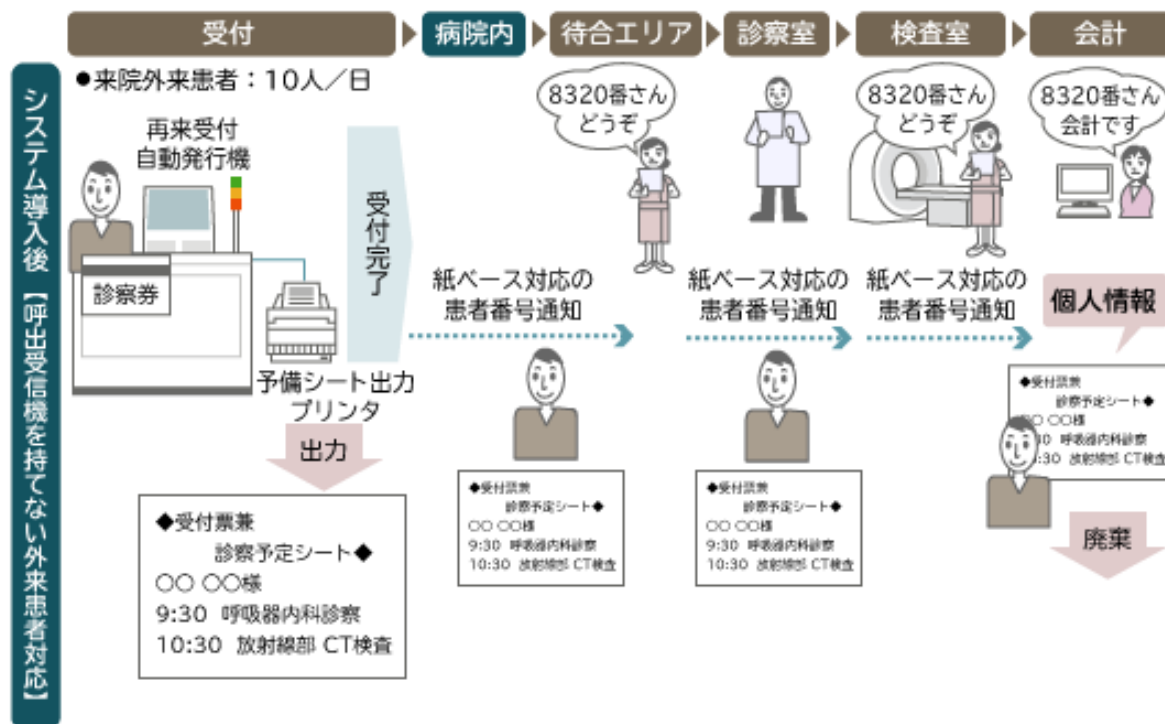


患者呼出システム： 2. After（呼出受信機を持たない外来患者対応）

外来患者様に呼出受信機を携帯していただき、受付から診察・会計までを円滑にご案内するシステムです。

導入後システムでの想定条件

- 呼出受信機携帯不可の外来患者様に対して紙ベースでも受付票兼診察予定シートを発行し併用で運用（日10人程度）



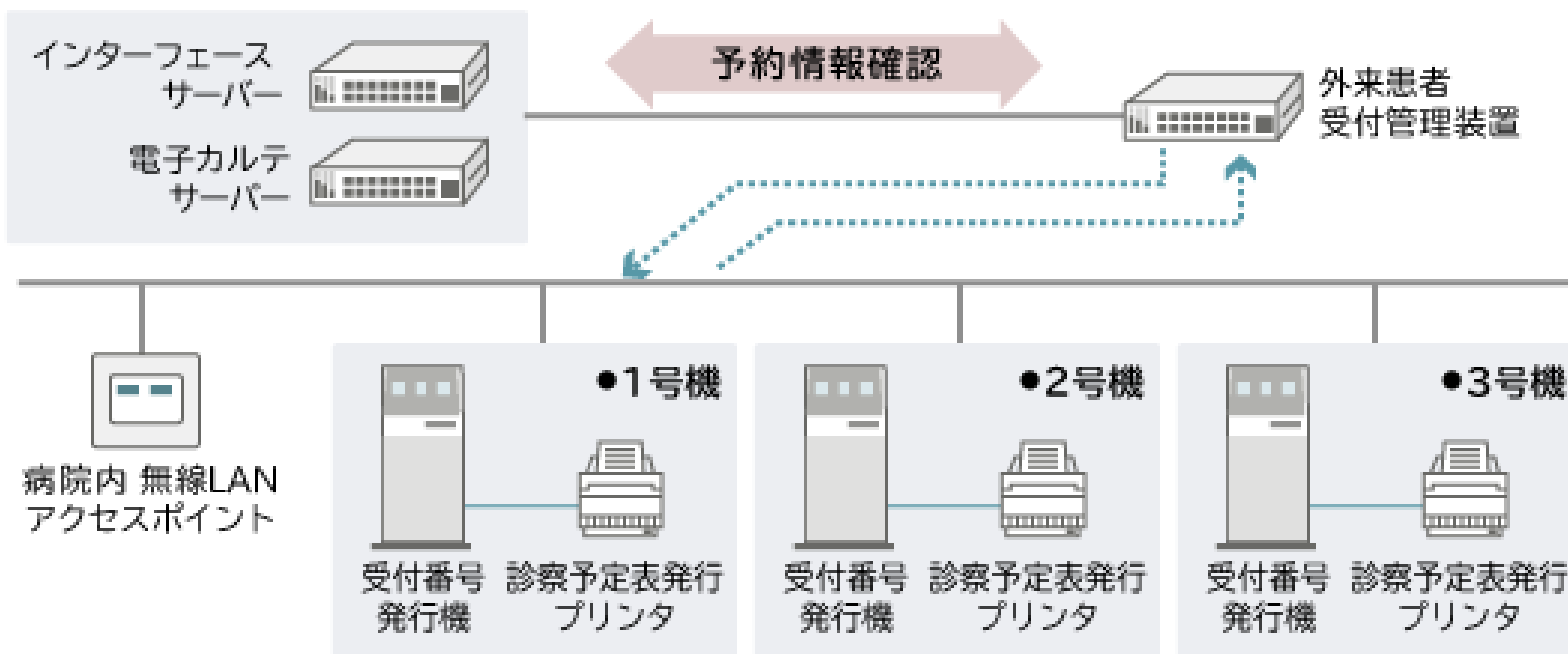
患者呼出システム： 3. Before After の比較

	Before…システム導入前	After…システム導入後
人	<ul style="list-style-type: none"> ●呼出にかかる時間：15秒/人 $15\text{秒} \times 750\text{人} = 187.5\text{分}$ $\approx 3\text{時間} \times 3\text{か所} \approx 9\text{時間}$ 	<ul style="list-style-type: none"> ●呼出にかかる時間：15秒/人 $15\text{秒} \times 10\text{人} = 150\text{秒}$ $\times 3\text{か所} \approx 7.5\text{分}$
紙使用	<ul style="list-style-type: none"> ●受付番号表（レシート紙） ●診察予定表（A4） <p>上記2種類の紙を使用 1日750人来院×240日/年 （18万7500枚年間 A4ベース）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●呼出受信機携帯不可の外来患者様に対して紙ベースでも受付票兼診察予定シートを発行（日10人程度）
物使用	<ul style="list-style-type: none"> ●受付番号発行機：3台 ●診察予定表発行用プリンタ：3台 ●シュレッダ （診察予定表等は個人情報のため廃棄する際に用いる） 	<ul style="list-style-type: none"> ●再来受付自動発行機：2台 ●呼出受信機：400台 ●予備シート出力プリンタ：1台 ●シュレッダ （診察予定表等は個人情報のため廃棄する際に用いる）

※3か所は、診察室、検査室、会計の場所を意味する。

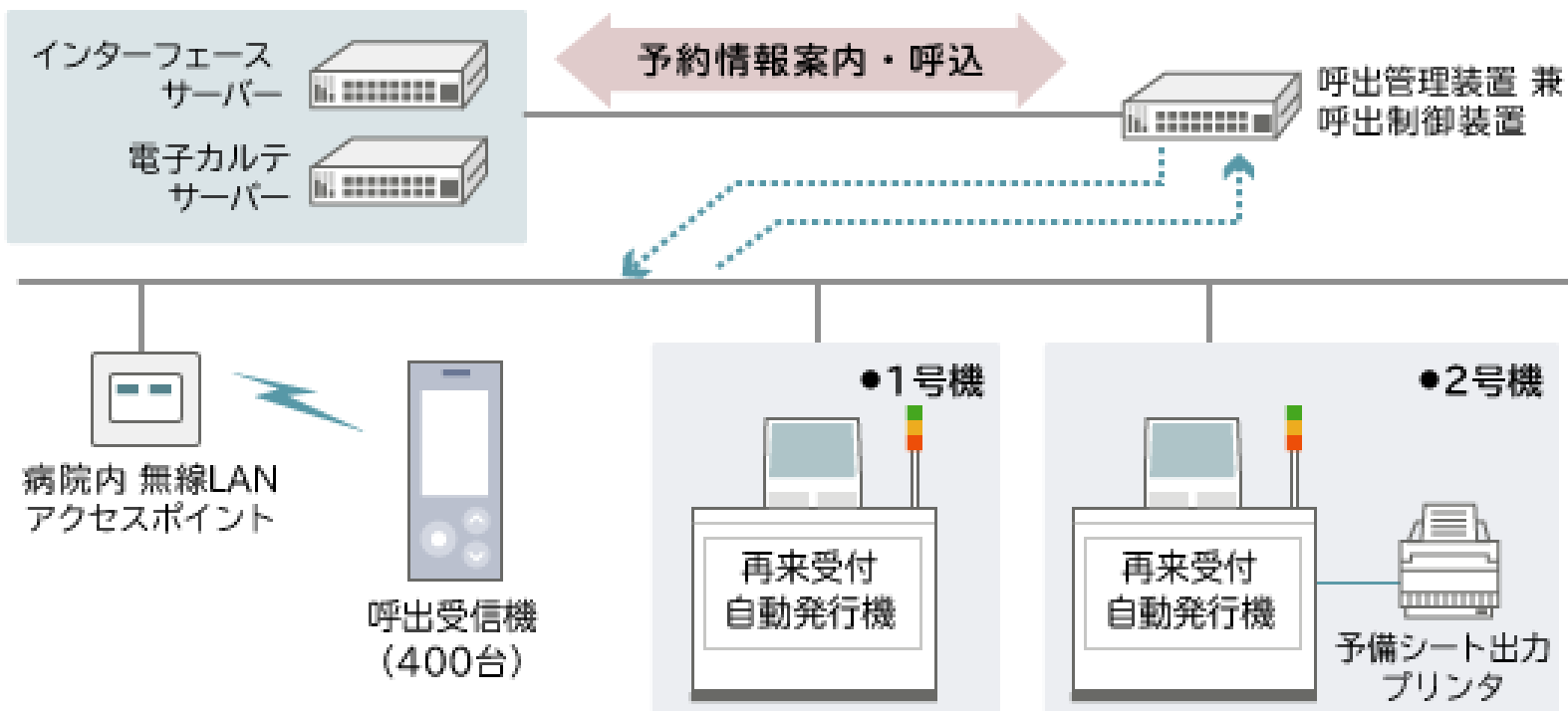
患者呼出システム： 4. システム構成 構成イメージ (Before)

患者呼出システム導入前 … システム構成イメージ



患者呼出システム： 4. システム構成 構成イメージ (After)

患者呼出システム導入後 … システム構成イメージ



患者呼出システム：負荷評価結果

紙の使用と工数削減により、67%のCO2排出を削減。

